

都市・環境常任委員会

(令和3年11月15日)

○ 竹野兼主委員長

皆さん、こんにちは。

時間になりましたので、ただいまより都市・環境常任委員会を開催させていただきます。

本日の委員会につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、笹井絹予委員につきましてはオンラインでの参加としていただいておりますので、ご了承を願います。

この際、笹井委員にお願いをいたします。ご発言されたい際には、タブレットの前で手を挙げていただき、委員長と発言をいただきますようお願いいたします。

また、画面の挙手とご発言が確認できたら順次指名をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

次に、本日の事項についてであります。11月2日に開催されました議会報告会でいただいたご意見等についての確認と整理をしていきたいと思っております。

皆さんのほうにはもう既に、今日、ペーパーのほうにも用意していただいておりますが、議会報告会で出された意見については、タブレットのほうに配信されていたと思います。

この点についてご意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

なお、当日は19名の方に参加いただきました。いただいた意見につきましては、正副委員長で、全てその他の意見として整理をさせていただきます。

ナンバー2の意見につきましては上下水道局へ、ナンバー6の意見につきましては都市整備部にも伝えることとしているところです。また、ナンバー5の意見につきましては、市民から質問に対する回答を求められておりますので、本日、回答案を紙で皆様にお配りしております。

このような形で整理をさせていただきましたが、いかがでしょうか。

○ 川村幸康委員

雨で冠水するという話なんですけど、後で私が考えてみると、浜田貯留管でそれがきちっとなされるのかどうなのかというのは、何となくそうだろうなと思っただけで、流量計算を含めると、ひよっとするともっと範囲が狭いのかなとか思ったりもしたので、一遍、ここだけは担当部局にきちっと聞いておく必要があるなと思って、私も、それやったらあ

そこにできたら大丈夫やろうとは思ったけど、よくよく考えると、鶉の森公園近くだけがこれでカバーされるんやとここまで行かんとか、どうやったやろうなと思って。

○ 竹野兼主委員長

たしか上下水道局のところの説明の中に、教育会館の前の道のところがありますやんか。教育会館のところというか、北側のところに流れがあって、そのところからも水がそこへ入っていくような状況にもある。浜田貯留管だけにつながるわけではないかもしれませんが。

○ 諸岡 覚委員

その辺も踏まえて、もう少し明確に確認を取ったほうがええという話ですよ。

○ 竹野兼主委員長

分かりました。そうしたら、その部分について、上下水道局にもう一回確認をさせていただいて、次の委員会なりで、その点について不明な点をただしていき、それで意見を皆さんからいただくというような形で進めさせていただきたい。

それで、もしその状況で答弁をしたというのを、今ちょっと少し不安やと言われておりますので、それがもし違う状況として、何らかの関係は絶対あるとは思いますが、下のところに造られているので、上から流れていく水はそのところで、少なくとも流れる部分のところでは今よりもより排水の能力が高くなるというのは間違いなく、大丈夫とは思いますが確認させていただいて、それで、もしその質問された方のところにつなげられるようであれば、そのところは検討させていただきたいと思います。

よろしいですか。

○ 川村幸康委員

市営住宅が造られるというところにも貯水管を下に造ろうという計画があったけど、今は進んでいないよね。立ち退きしてもらって、小鹿ヶ丘と石塚のところに造ろうとしておった市営住宅は今ちょっと止まっていて、石塚のところも、多分、地下の貯水槽を造りながら市営住宅を造るという話はあったと思うし、その前の、川の向こうやったか忘れたんやけど、市営住宅をもう一個造ったよね、あれ、何階かの。もう一個造ったよね、市

営住宅。

○ 竹野兼主委員長

大瀬古新町。

○ 川村幸康委員

あそこでも貯水管がついているんやな。あれの下は貯水槽やったんかな。だから、そこらを一遍確認したいなと思って。

○ 竹野兼主委員長

分かりました。

○ 川村幸康委員

その都度、行政がやるやつの貯水とか、調整池っぽいのは幾つか造ったと思うので、一遍、総合的に町の中がどうなっておるのかなと思って。

例えば、皆さんあんまりだと思うけど、この前も造っているんですよ、平成10年ぐらいから。すごい貯留管をこの市役所の前の通りも。

○ 竹野兼主委員長

埋設工事されていました。

○ 川村幸康委員

諏訪公園の下も貯水槽やし、結構、町は貯水槽がようけあるのやけど、浜田貯水管も含めてどれぐらいそれで、ゲリラ豪雨の降り方や水量にもよるんやろうけど。これだけカバーされておるのかなというのは、私らもちょっと知っておかんと。

それで聞かれたときに、困っておる人はそんなことはどうでもええんやと。結局、俺らのところはどうなったんやという話なので、ここはちょっと確認したいなと。

○ 竹野兼主委員長

分かりました。

これも、今言われたように、10分で20mmとか、時間50mmとかというのが普通に、年に数回程度は降る状況にある。その場合の対応が本当に、上下水道局でどういう考え方で対応していこうとしているのかということを含めて、次の委員会の中で、少し説明を受けるように準備をさせていただくということをご了解いただきたいと思います。

よろしいですか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

では、そのような形で進めさせていただきます。

それでは、それ以外の部分についてはいかがですか。

よろしいですか。

(なし)

○ 竹野兼主委員長

それでは、正副委員長案を取らせていただいて進めさせていただくということで、よろしくをお願いします。

また、議会運営委員会のほうにはこのような形で、その他の意見でという形で報告をさせていただきますことを確認させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

それでは、よろしくお願いたします。

今回の委員会については、この確認だけということで、都市・環境常任委員会はいずれ以外にないというような状況でありました。

ただ、最後に、委員会の皆さんに行政視察についてお尋ねをさせていただきたいと思えます。

8月定例会議会の委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響を見ながら、改めて協

議をしていくというふうにしておりました。また、特に今日は他の委員会でも、行政視察をどうするんだという意見が出るような話を聞いております。

私としては、この状況が、もし少し収まっているような状況が続くのであれば、1月ぐらいに、2泊3日はちょっと無理にしても、1泊2日程度の行政視察を一度考えてみたいなど思っております。

まだ副委員長とはお話ししてないんですけど、バスタの関係があるので、例えば、新宿バスタを見ながら、新宿区、そして国土交通省のほうに、1日、2日間というような説明を聞きに行けたらなというようなことも考えてはいるんですけど、そこら辺については、もし何か委員の皆様から1泊2日での、こういう今の状況があったら一度行ってみたいところがあるんだというものがあれば、ご意見をいただいて、ちょっと検討していきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

それ以外に、今、議会のほうで、オンライン視察という形になっておりますけど、それも一つのいいかなというところではありますけど、実際に、これまででいうと、オンラインでは話を聞くだけであって、現場はなかなか見れていないというのはどうなのかなというふうには、委員長の立場としては考えておりますので、できれば現場を見ていきたいというふうには思っているところです。

年間予定では、1月24日から26日が行政視察の予定となっておりますので、皆さんに、一応、24日から26日というような日程を基本にさせていただいて、できれば進めていきたいというふうには考えております。

(発言する者あり)

○ 竹野兼主委員長

正副のほうで考えさせていただくことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

では、その形で進めさせていただきますので。その日程の中で2泊3日になっておりますけど、1泊2日というのを、2泊というのは今の環境を考えると、長く留守にするんじ

やなくて、24、25日の1泊2日ぐらいでどうかなというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたしたいと思います。それでは、何もないようですので、以上で全ての事項が終了しましたので、都市・環境常任委員会を閉じさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変ご苦労さまでした。

笹井委員、ご苦労さまでした。

13：43 閉議